

事業番号										107	
平成25年行政事業レビューシート（厚生労働省省）											
事業名		予防接種後副反応報告制度事業費 （旧予防接種後副反応・健康状況調査事業費）			担当部局庁		健康局			作成責任者	
事業開始・終了（予定）年度		平成6年度			担当課室		結核感染症課			結核感染症課 正林 督章	
会計区分		一般会計			政策・施策名		I－5－1 感染症の発生・まん延の防止を図ること				
根拠法令 （具体的な条項も記載）		－			関係する計画、通知等		・「定期の予防接種の実施について」 ・「定期のインフルエンザ予防接種の実施について」 ・「予防接種後健康状況調査の実施について」				
事業の目的 （目指す姿を簡潔に。3行程度以内）		予防接種後の副反応報告を法定化し、薬事制度上の副反応等報告と一元的に取扱うための新たな副反応報告制度を構築し、安全性・有効性の高い予防接種体制の確立を図るとともに、予防接種後の副反応に関する情報を収集・分析し、その結果を広く公表することにより予防接種に対する国民の理解を促すことを目的とする。									
事業概要 （5行程度以内。別添可）		①予防接種副反応報告整理・調査事業費（平成25年度からの事業） 予防接種後の副反応報告を法定化し、薬事制度上の副反応等報告と一元的に取扱うともに、個々の副反応の評価を実施することとしており、独立行政法人医薬品医療機器総合機構で副反応情報の整理・調査を実施する。 ②予防接種副反応報告システム導入・運用経費（平成25年度からの事業） 予防接種副反応報告整理・調査を実施するためのシステム導入・運用経費。 ③予防接種後副反応・健康状況調査事業費 予防接種後の副反応の発生状況を正確に把握し今後の適切な予防接種行政の遂行に資するため、予防接種後副反応に関する健康状況調査を実施し、その集計結果を市町村及び医療機関等に提供することにより、より安全な予防接種の実施を図る。									
実施方法		■直接実施 □委託・請負 ■補助 □負担 □交付 □貸付 □その他									
予算額・執行額 （単位：百万円）				22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求			
		予算 の 状 況	当初予算	23	21	21	92	95			
			補正予算								
			繰越し等								
			計	23	21	21	92	95			
		執行額		25	18	18					
		執行率（％）		108.7%	85.7%	85.7%					
成果目標及び成果実績 （アウトカム）		成果指標				単位	22年度	23年度	24年度	目標値 （年度）	
		予防接種後に発生した副反応や健康状況の変化を調査・集計することで、予防接種のリスクについて国民に適切な情報提供が可能となる。			成果実績		－	－	－	－	
					達成度	％	－	－	－		
活動指標及び活動実績 （アウトプット）		活動指標				単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込	
		予防接種後副反応報告書、予防接種後健康状況調査集計報告書の作成			活動実績 （当初見込み）	件	2 （見込み数：2）	2 （見込み数：2）	－ （見込み数：2）	－ （見込み数：2）	
単位当たりコスト		10,253,500（円／報告書）			算出根拠	予算額を報告書の作成数で除して算出。					
平成25・26年度予算内訳	費目		25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由						
	医薬品審査等業務庁費		25	25	単価の見直しに伴う増 対象とする事務庁費の追加に伴う増						
	社会保障関係情報化庁費		16	10							
	人件費		43	46							
	事務庁費		3	10							
	賃金		4	4							
計		92	95								

事業所管部局による点検						
項 目			評 価	評価に関する説明		
国費投入の 必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	感染症の発生・まん延を防止するため、予防接種法による予防接種後の副反応・健康状況調査を把握する事業であり、国民のニーズ、優先度ともに高い事業である。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	感染症の発生・まん延を防止するため、予防接種法による予防接種後の副反応・健康状況調査を把握する事業であり、国の関与のもと、適確に実施すべき事業である。		
	明確な政策目的（成果目標）の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○	感染症の発生・まん延を防止するという政策目的のための達成手段として行われる事業であり、優先度の高い事業である。		
事業の 効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		△	少額随意契約で行っている。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		－			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		－			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		－			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	感染症の発生・まん延を防止するため、予防接種法による予防接種後の副反応・健康状況調査を把握する事業を実施するための委託費等であり、真に必要な費目を対象経費としている。		
	不用率が大い場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）		○	予防接種後の副反応・健康状況調査に要した経費が当初の見込みを下回ったため。		
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	感染症の発生・まん延を防止するため、予防接種法による予防接種後の副反応・健康状況把握のため、年間約8万人を対象に調査を行っており、で他の手段に比べて実効性の高い手段となっている。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	当初見込みどおりである。		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	報告書は予防接種後の副反応のデータを把握するために活用されている。		
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。（役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載）					
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	予防接種後の副反応に関する情報を収集・分析し、その結果を広く公表するものであり、これまでも見込みどおり実施できている。引き続き、事業を円滑に実施するために予算の確保が必要である。 平成24年度も、予防接種後の副反応、健康状況に関する情報の収集・分析結果を報告書にまとめて広く公表しており、適切に執行されている。今後、より正確な情報を提供していくため、健康状況の調査に係る調査票の回収率の向上を図る必要がある。					
外部有識者の所見						
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現状通り	予防接種後の副反応に係る情報を収集・分析・表することにより、国民の予防接種への理解を促進するための事業であるが、事業の必要性及び執行の観点からも妥当であり、引き続き効率的な執行となるよう努めるべき。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現状通り	－					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	142	平成23年	121	平成24年	96

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)

厚生労働省 18百万円

予防接種後副反応の発生状況を正確に把握し、今後の適切な予防接種行政の遂行に資するため、予防接種後副反応に関する健康状況調査を実施し、その集計結果を市町村及び医療機関等に提供することにより、より安全な予防接種の実施を図る。



【支出】

A.都道府県(47) 18百万円

予防接種後健康状況調査を実施

費目・使途
（「資金の流れ」に
おいてブロックご
とに最大の金額
が支出されている
者について記載
する。費目と使途
の双方で実情が
分かるように記
載）

A.			E.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	神奈川県	予防接種後健康状況調査	0.9		
2	福岡県	予防接種後健康状況調査	0.9		
3	大阪府	予防接種後健康状況調査	0.8		
4	埼玉県	予防接種後健康状況調査	0.6		
5	千葉県	予防接種後健康状況調査	0.6		
6	新潟県	予防接種後健康状況調査	0.6		
7	北海道	予防接種後健康状況調査	0.5		
8	兵庫県	予防接種後健康状況調査	0.5		
9	京都府	予防接種後健康状況調査	0.5		
10	愛知県	予防接種後健康状況調査	0.5		